

## 平成 29 年度 第 7 回運営協議会会議録

日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）午後 3 時～

場所：天理市役所 4 階特別会議室

出席者 9 名・欠席 1 名（XXXXXXXX）

局長：それでは皆さん、議会お疲れ様でございました。早速ですけれども、第 7 回目の運営協議会を開催させていただきます。まず管理者からご挨拶を申し上げます。

管理者：3 月議会の大変お忙しいところ、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。皆様方の多大なお力添えをいただきまして、無事に議会の方は来年度予算についてご承認いただきまして、又・・・申し上げましたですけれども、環境影響評価の現状と施設整備検討委員会の答申案についても、特段先程の議会の方でもご意見ですとか、物言いが入らず、スムーズにいったという事でございます。ただ前回の運営協議会の際で議論させていただきました、やはり今後の費用の議会へのご説明の仕方の部分と、相当きつい日程になっております。後程申し上げますが、統一選との絡み等もありまして、今後の発注のタイミング、議会説明の所というのが、相当呼吸を合わせてやらないといかんというような状況でございまして、今日はご審議の程、宜しく願い申し上げます冒頭のご挨拶にさせていただきます。ありがとうございます。

局長：ありがとうございます。それでは議事に入ります前に資料の確認をお願いしたいと思います。まず議会の次第、続きまして第 7 回運営協議会の議事、議会説明について（応答要領）、そしてトン単価の比較表一覧表でございまして。続きまして交付率の表になってございまして。続きまして山辺・県北西部広域環境衛生組合の事業工程表、発注支援業務の入札方法について、最後になりますけれども新ごみ処理施設建設に係る協定書（案）、以上でございまして、漏れ落ちはございませんでしょうか。それでは次第に従いまして、管理者に議事進行をお願い致します。

管理者：それでは 1 番目について事務局の方から説明をお願いします。

次長：それではお渡ししております資料の議会説明につきまして応答要領、それとこちらの落札金額一覧表と、施設区分の交付率こちらの表でございましてけれども、この 3 点でご説明申し上げます。まず平成 28 年度組合発足時の試算いたしました建設費用、前回の運営協議会でお示しさせていただいた資料ですけれども、その時の建設費用につきましては平成 21 年度から平成 27 年度に施工されました主な入札結果を平均いたしました。その結果処理能力 1 t 当たりの建設単価でございましてけれども、こちらの表の紫の部分平成 21 年度から 27 年度までの落札結果に基づきまして、平均をさせていただきました。その結果が 1 t 当たり 5,300 万円という結果でございました。しかしながら近年の入札結果、平成 28 年度から平成 29 年度を同等に試算いたしますと、処理能力 1 t 当たりの建設単価が約 8,500 万円と高騰している現状でございまして、これにつきましては、こちらの表の下半分、赤の部分でございまして、こちらの赤の所に 1 t 当たりの処理単価 8,500 万という計算結果が出て

おります。高騰の要因につきましては、東京オリンピック等の要因が考えられますが、今後の動向に注視する必要があると考えております。

管理者：前回は説明を申し上げてる所なので、今日はこの3月議会で皆様方がこの質問を受けた場合にどう応答するのかっていう応答要領の部分をきちんとあれなんで、そこ整理しましょう。ただそれと共に、こっちは前にはなかった。

次 長：付け足していただいております。

管理者：前の運営協議会で付けていましたっけ。なので、もう皆さんお忙しいと思うんで、こちらの応答要領の方ちょっともう1回。

次 長：そしたら、黒ポツの2つ目です。又、国におきましても高効率発電を促進する為の補助金の補助率の嵩上げの対象が、こちらの表の通り縮小されておりました、多くの部分が当初2分の1やった部分が3分の1になったという事で、自治体側の大きな負担増が避けられない状況となっているところでございます。続きまして、黒ポツの3つ目です。建設費用につきましては、炉の形式、排ガス規制等基本仕様によって大きく変わる所でございますけれども、現在、施設整備検討委員会におきまして、費用対効果や経済的な手法を含め、合理的な考えで議論をいただいております、本組合といたしましても出来る限り財政上合理的な事業の推進を目指して参ります。なお委員会の答申が平成29年度末、この3月末でございますけれども出されまして、その答申を基礎といたしまして、平成30年度に発注支援業務、これは予算の所でもご説明させていただきました通り、平成33年度までの債務負担行為として計画しております、平成31年春頃には予定価格、すなわち設計価格が確定する予定でございますが、状況が進展する毎に議会に対しまして、きちんと報告させていただきたいとこのように考えておるところでございます。

管理者：ここという議会というのは、各市町村議会というニュアンスでございまして、なので、あまり価値判断を含まずに、まず1つめの黒ポツで事実関係として最近の入札結果を見たらまず上がってしまっておりますよという部分と交付率が変わってるんで地元負担は増えていかざるを得ない状況ですと。ただし、今この3月議会の間はまだこの施設整備検討委員会の議論の最中なんでという部分を言っていたというものが今構成しているところでございます。ただそれが実際に3月末に出るんで、4月以降に又同じ質問をされた場合、或いは出来るだけ早い段階で説明したいという皆様からのご意見もありましたので、それで4月以降についてはこの部分を追加しようというのが、3枚目でございます。

次 長：4月以降のご説明といたしまして、2点考えております。なお各市町村の費用負担の軽減をする為に、入札方法等について競争性を担保できるように検討し、議会にも報告させていただきたいとこのように考えております。又、施設整備検討委員会の答申につきましては、安定且つ安全性及び継続性の観点から経済性も含めまして、適用可能な最高技術を導入するという考えの中で、費用対効果や経済的な手法を含め、合理的な考えから地元住民が入っている当委員会において、処理方式については灰溶融施設ではなく焼却方式とし

て決定しております。また排ガスの処理方式ですけれども、塩化水素の処理方式につきましては、乾式法を採用する事についてご理解いただいております。それと入札方法につきましても競争性が発揮できるような方式を考えております。以上でございます。

管理者：若干この説明だけで、それぞれ色々追及を受けた時にどこまでもつんだらうという所があるんですけども、実際に又、次の議題になりますけど予定価格というのが出るのがもっと先なので、あまりギラッと幾らでそれぞれの負担が幾らになりますっていう事を言える段階にはならないかなというふうに思っております。4月以降の説明で加えさせていただいたのが、ただその金が掛かるような施設の備えには検討委員会でもなりませんのであるとか、或いは出来るだけ色んな方が入札できるような形にして下げる為の努力っていうのは精一杯汗をかいていくんですっていうのを、協調するしかないかなあというふうに思っております。少し補足で入れていただかないといけないかもしれませんが、要は灰溶融炉を付ければ当然それだけコストがアップする所が、シンプルな燃焼、焼却方式ですという事と、あとは有害物質を除去する為の方式についても、乾式という、湿式に対して乾式というのがあるんですけども、こちらの方が維持管理運転その他最初の導入コストも安いような形になっております。なので、そういった辺りの資料も又事務局を通じてご担当には共有させていただく中で、このぐらいまでのラインかなとは考えていますが、皆様方もしご意見いただければという事でございます。いかがでございましょうか。

：今日の全協で管理者が話しに行った事には、こういう今話をした件については未だ触れてなく順調に計画は進んでますっていうので、今日の議会は終わっておるんやな。

管理者：金額がどうこうみたいな部分というのは、入っておらないので。

：予定通り進んでますよって。

管理者：そうですね、金額以外の部分は予定通り間違いなく進んでおるんで、スーっとそこは行った形です。

：この入札についても競争性が発揮できるような方式っていうのは、どういう事を想定しておられる。

次 長：基本的に例えばごみの処理方式、焼却方式でも特殊な方法を探採させていただきますと、例えば1社しか入れないというような事がございますので、この施設整備検討委員会の中でもその辺ご議論されまして、やはり焼却方式という大きな枠を作ったときましたら、例えばストーカ方式のメーカーであっても、流動床方式のメーカーであってもやはり両方入ってこられるという形でパイとしては大きく広げておきたいと、このような所でございます。

：この資料の中に、入札企業という一番右のところに企業名入ってるやん。ほんで赤枠がまあ今言うてる概ね8,500万の中でずっと見てると、一番最近の分でいけばとかとかとかこれとか色々あるんやけど、これそこそこの企業がやっぱり数が揃

うんかな、入札企業の。

管理者：率直な所で申しますと、今平成 32 年から 33 年にかけてというのが、この時期に重なっておるっていう事で、コンサル通じてメーカーから聞いたところではそれぞれ散っていくような感じです。入札物件が少なければみんながそれを取りに行くんで、企業数は増えるんですけど。ただ今次長が申しました主旨というのは、そもそもこの施設整備の検討の方針自体でもうそこしか無理やろうみたいな感じのものをやっておくと、始めから門を閉ざしてるような形になって、一番シンプルなどこの企業でも入れ易いような方式を一応今の所は採っていつてますっていうところなんで、あとはそれと実際に入れてもらえる札の数がどんだけかっていうのは、ちょっとこれはイコールではないという事でございます。ちょっとこの、ここの説明がこの丸とこの丸の所の繋がりがこれだけでは分かり辛かったかもしれないんですけども。

：じゃあこの競争性が発揮できるというものの言い方になると、例えば数が少なかったらどこに競争性が発揮されてるねんみたいな話も出やせんかなという気はするんで、その辺どうなんかなという。

管理者：それは施設整備検討委員会で処理方式を議論した時に、そもそも色んな所が入れる事が出来るようなものを選ぼうという視点で 10 ページから 11 ページが構成されておりまして、それでいいですね。

局長：それでいいです。

管理者：出来るだけ出せる所が絞られないような方式を選んでいきましたっていうのが、一応この答申の中身にはなっております。

：これ見てたら大体 1 社、2 社。結局はそういうとこやんか。うまい事いっても 3 社やる。ほとんど 1、2 社やる、これ。

局長：技術管理者を抱えてる数って決まってますんで、数多く取って対応が出来ないというところがありますんで、先程管理者が申しましたように発注の数は多くなってくると、やはり入ってくるとこが限られてくるいうところがありますんで、ただ炉の方式の採用については、どの業者も手を挙げられるような炉の採用をしておりますので、その点では参加し易いという事を申し上げてるんですけども。なかなか実際に入ってくるかって言われるとちょっと分からない部分がありますけれども。

管理者：だから理論的にはみんなが入り易い方式をうちは整えていっていると。ただその時の実際の情勢っていうのはもう分からない。

次長：蓋開けてみないと分からないですね。実際にちょっとヒヤリングをさせていただきましたら、31 年度、32 年度辺りに入札されるのが大小合わせて 10 件程度ございますので、そ

それぞれのメーカーっていうのが数が逆に決まっておりますので、大小合わせて10件程度はやはりその年度に集中しておるとというのが実状でございます。

：数が多けりゃ落札率も下がるやろうけど、数少なけりゃ高くなるからな。

管理者：先程申し上げたうちの議員がちょっと仰ったバイオガスみたいな事によると、もう既にやってるところは3社。2社は入らないと言っていると。1社がギリギリ入るかもしれないと。だからそういう事を言い始めると、初めの様式の段階から絞っていくような議論になるので。

：まあ業者をもう決めてみたい話になるね。

管理者：そうですね。それはもうやらないようにしていくと。

：質問が来るとすれば恐らく3月の予算委員会で質問が来ると思います。4月以降こういう事でっていう事なんで、3月の予算委員会の中ではまだ設定金額も後1年程かかりますと、今順調にしておりますと、じゃあ上がるのか下がるのかという事なれば。

管理者：この最初の状況は説明していただけたと思います。

：これは言ってもいいわけね。

管理者：これはもう事実関係なんで。

：これくらい若干上がると思いますと。ただ具体的な事については今後の事やというようにな事でもう説明をその辺で・・・とくのが一番ええんかな。

：それしかないわな。今の段階では。下手な事言うたらなんぼでも話が深くなってしても答えようもないわな。

管理者：応答要領としては大幅な負担増ぐらいいは、方向性ぐらいいは示しておかないといけないのかなという事で。

：せやけど、この数字見りゃもうかなり大幅やけどな、これ。

局長：実際現状はこういう状況になっているという事で表は作らせていただきましたけれども。

：ただ、今日の議員に対してこの話は一切ないでしょ。ないのは別にいいんですかね。

管理者：一応3月議会前にあんまり波風を立ててもというようなお話だったかなと思いましたが、応答ベースでかなと。ただ4月以降はむしろこっちから積極的に説明事項の中に入

れていって、一度やはり上がるんですよというくらいは言うておかないとマズイのではな  
いかなと思つとるんですけれども。今日もし詳細説明すると、必ず各市町村議会持ち帰っ  
ていかれて、そこで議論百出になるかなと思つたんで。

：4月以降出るのちやいます。

管理者：ただこの応答ベースの部分についてはもうそれぞれの事情のご判断かなと。正直言いま  
すと、うちは議長とか・・・だけに説明してある感じ。全協では言うておりません。

：それぞれが議会で報告されるのかどうかも、それも定かではないですけれども。

局長：その辺も今日皆さんにご協議いただけたらと思うんですけれども。

：聞きはって初めて答えられるけど、こっちから振るのは。

：うちでも敢えて話を出さんけどね。敢えては。

：うちは時期がくれば議長には言うことと思うんです。その事が、逆に今度議会運営する  
時に議長がコントロールしてくれるんで、そこで一斉にこう・・・たら、コントロール議  
長もしにくい部分があるので、一定の時期には言おうと思つてます。

局長：その辺がね、うちの組合の議員と各市町村の議員のどちらに先に報告したらいいのかと  
いう所も我々としては動き方がございますので、ご協力いただけたらありがたいと思う  
んです。

：早よ言うて恐らく議員同士うちでこんな話聞いたけどあんたこここの話出たかみたいな  
必ず問い合わせ、近隣ではあると思うよな。

管理者：その辺の相互間の事もあるので、合わせて今後の予定の所を見ていただきながらの方が  
分かり易いかなと思つて、ちょっとざっくり。

次 長：お渡ししておりますスケジュールの方についてご説明申し上げますので、こちらのちょ  
っと横長の大きい資料なんですけれども、これをお出しいただきたいと思つています。一番上  
のピンクの部分ですね、これが新ごみ処理施設整備検討委員会、これが3月末までござい  
まして答申をいただきます。今併せて民間活力導入可能性調査というのを実施してござい  
まして、例えばDBOでやるのかとかいうような所の費用対効果を比較してございま  
すと3行目から1から7の数字が書いております発注支援業務。これにつきまして今後入札  
の要求水準書というのを作成させていただきます。それと落札業者を決定するのに、要す  
るに点数表ですね、点数表を作つていただきまして、有識者等の又審議会、選定委員会つ  
ちゅうのを開催させていただきます、落札業者を決めていくとこういふような基本姿勢  
でございます。発注支援業務につきましては、数字の1の所を見ていただきたいんですけ

れども、平成30年の6月にコンサルタント業者に入札を実施したいとこのように考えております。コンサルタント業者が決まりますと、実施方針を作っていたり、要求水準書、これは同時に発表させていただくんですけども、これを策定させていただくと。それと並行いたしまして数字の3の所ですね、黄色の部分でございますけれども、見積徴集というふうになっておりまして、この部分でプラントメーカーから見積を徴集させていただきました。平成31年の4月、赤の星印書かせてもらっておりますけれども、平成31年度の4月に予定価格、要するに設計価格の方を策定させていただきます。予定価格が出ますと、次に当然議会の予算の裏付けが必要でございますので。ざっとの流れで説明させていただきます。予定価格4月に出ますと、入札公告というのを8月にさせていただきます。大体この辺が合わせて数字の7番の方ちょっと下になるんですけど見ていただきましたら、専門委員による要するに審議会というのがございます。ここに予定価格の公表から落札までの一連の6回の審議会を予定しております。こちらと合わせながら落札者を決定していくという流れでございます。入札公告が8月にありまして、第1回目の書類審査、これが9月10月を予定しております。こちらはあくまでも資料審査でございます。こういうメーカーが入るかという資料審査をさせていただきます。第2回の受付け、又黄色の部分を見ていただきましたら、ここはプレゼンテーション含めまして、優秀提案者の決定をさせていただきます。それに基づきまして、入札をさせていただきます。落札者の決定が4月という事になっておりまして、落札者価格がこの4月で、32年度の4月に決定するという今流れでございます。落札者が決定しますと、都市計画決定をさせていただきます。議会のご同意をいただきまして、7月に平成32年の7月に契約の締結という形の今スケジュールでございます。簡単に説明の方させていただきました。

管理者：実際に工事が始まるのは。

次 長：工事は、まず実施設計がありますので、実施設計が約9カ月ございます。32年度の7月に本契約をさせていただきますので、実施設計9カ月あって、その後に工事が入りますので、約33年度の頭ぐらいから工事が入ってくるという形になります。

管理者：それで33年度34年度35年度で36年2月が予定なんで、35年度末までに稼働ができるようにという、これが大体ギリギリの状況でございます。それでちょっと私から追加で申し上げたいのが、今後の議会の対応の説明なんでございますけども、この予定価格4月の所が一番肝になって参ります。結局来年の2月にこの組合議会やるわけなんですけれども、その時にはまだ予定価格が出ていない。ただそれで一番大きな実施設計と建設にかかる費用を、じゃあいつの段階で議会を通してそれをやれるのかという事なんです。入札公告が8月でございますので、これをどんどん後ろに・・・で年度を跨いでしてしまいますと、そもそもの35年度末までについていうとこが成り立たなくなってくるので、これは守りたいとなってきてしまいます。統一選が31年の4月にあるという事と、各市町村議会も3月議会に間に合わないという事を合わせ考えますと、この予定表を守ろうとしてしまった場合には来年の2月3月議会にちゃんと出せずに4月の予定価格が出てから、ちょうどその時に又選り直される議員の皆さんを4月5月の各市町村の議会で役選があると思うんですけれども、そこで組合に誰を出すかという事を決めていただいて、6月に臨時議会を

開いてそこで臨時議会で補正予算でこの予定価格に基づいて一番割高のものについての債務負担行為を取っていかないと、これが出来ないっていう形になって参ります。それぞれの市町村議会については31年度というのは入札公告をして審査をしているだけなので、負担金は発生はいたしませんので31年度予算については、乗っかってなくても大丈夫だというのがうちの現状の判断なんですけれども、32年度以降の所にバンと掛かってくると。それらについては、恐らく相当きちんと前広に根回しをしとかないと、こんなの選挙が終わっていきなり役選してもらって、いきなり臨時議会開いてもらってそれで一番大玉の予算を可決してくれなんていう事は無理なんで、事実上は来年の2月3月の各市町村の議会の時に、はっきりした数字はまだ出来てないけれども、大体感触としてはこんなぐらいでもう今動いてますっていう今後の流れの部分も全部説明しといて、もう予定価格できっちりしたものが4月に出てきますからそれでこういう流れで宜しくお願いしますっていう事で言って、ダダダダと進んでいかないといけないと。どこかがそこでけつまずいてしまうと、入札公告8月に打てなくなるんで、結構実際の稼働に響いてくるという、相当タイトな状況でございます。そう考えると、もうこの2月3月、来年の要は今くらいの時に根回しをするまでに、1年しかないんで、この4月に入ってからこの1年間のどこの部分にそれぞれ丁寧な説明をしていってというような所を、ちゃんと呼吸を合わせていかないといかん。

： の場合は、31年の4月に市長選挙と議会選挙がダブルであります。せやから知事選挙、県議会選挙が終わった2週間後に市長選挙、議員選挙がありますんで、 の場合はどさくさっていうのを、前をどさくさっていうのか後をどさくさっていうのか。今までの経験値から言いますと、選挙前の2カ月ぐらい前から議員自身は頭そこにあらずで、選挙一本になっていきはりますんで、市の予算すら概算予算立てていって、通してもうて後で6月で肉付予算すると。いつもそういう形でやってます。せやから前のメンバーで通しておく方がいいのか、新しく選ばれたメンバーで通していくのかっていうのは非常に難しい。

管理者：ただですね、その予算として通す事は結局予定価格が出てないと無理なんです。だから根回しまでしか、どうしたってやりようがないっていう。

： 大幅に言うたかてな、ある一定の値段の開きはありますよと。

： 今、並河管理者の説明では、結局工事関係の予算は32年度になると。

管理者：市町村予算については負担金なんで、そうなります。

： 我々の所は32年度の当初予算で負担金で予算計上しておくという事になるわけでしょ。それまでの間あるんやけど、結局我々例えば議会で説明しようと思ったら、実際は言うたら、そうなると思います、そのような事で聞いてますの説明で果たしてこの30年度。

管理者：すみません。31年度はもたないですというのは31年の6月にこの組合の議会の方で予



算としてバジッと通してもらって、その予算の基に事業者を入札公告を8月に打たないといけないんで、実際32年度予算にしか掛かっていかないんですけども、もうごみ量割合でやれば、その6月の時点には各市町村に32、33、34、35といくらずつ掛かっていくか確定になっちゃう。そうすると誰に断ってそんな金額積んでんねんって話に。

：前にのが、うちは議員案外シビアでうるさいんで出来るだけ早く説明をしたいという事で前回は仰ってたんでね。我々としては30年度4月以降の話やけど、4月以降の30年度内の中で大体足並みが揃うような、例えば話が出来る時期、例えば6月議会であるとか。臨時議会でこんな話したらややこしくてしゃーないから、議会側が逆に嫌がるがな、臨時議会では。せやから6月議会辺りを目処に一定の資料を整えてもろて、そこでちよっと前振りだけしておくよ。

管理者：30年度の6月議会ですか。

：30年度の6月議会やで。

局長：要するにそれぞれの市町村の6月議会という事ですか。

：この市町村の6月議会。

：そうそうそうそう。

管理者：市町村の6月議会の議案に上がるのではないんですけど、全協なりそういう機会を与えていただいて。

：大体読むねん。色々天理の事務局の方で調査してもらって調べてもらって読むねん。こういう考え方で進めたらどうやと。これでやる場合やったらこれぐらいの金額になるという一つの試算が出ておりますと。今後の進め方は今言うてる例えば予定価格はどうやとか、何々はどうやとかその辺のスケジュールをちよっと合わせて資料として出したら大体前向いていくんちゃうかなと思うよ。

：通常のこっちの組合の議会は次は何月ですか。

局長：8月です。

：それは決算議会ですか。

局長：そうですね、はい。

：8月の決算議会に流せる所まで流して、そして各々がそれを受けて流せるとこまで流しとくっていうのが一番。

管理者：組合議会の方が先の方じゃないかっていう事ですね。

：31年度は各市町村の予算は別に影響ないんですか。

管理者：31年度の予算には影響はないし、議案は通さなくていいんですけど、31年のこの6月議会、ここの6月議会で予算通して公告打ったら、自動的に32年度以降の負担が決まってくるんで、やっぱり議決は採らないけれども、もうしっかりそこは理解いただいているという状況じゃないと、出てきはる議員がですね。

：建設負担金の各市町村の負担分を債務負担で確定しておく必要はないんですか。

管理者：それはですね、うちも財政課の方と大分財政的な法的な部分というのは詰めたんですけども、負担金自身が発生するのは32年度から。ただ31年度に何で無理にこんな時期に採らないといけないかという、組合として予算の裏付けを持ってなかったらば、入札公告が打てない。だからお金の使う、チャリンっていうのは動かないんですけど、予算の裏付けがちゃんと議決取れましたよという事で、世の中の企業に申し込んでねっていう事やらないといけないっていう事。

：組合としては債務負担で、予算はできますねんけど、そのもう一つ裏付け各市町村の負担っていうのは要らないのかなという気はすんねんけど、どうなんですかね。

管理者：それは制度的にはいいって事だったですね。もう一度各市町村の財政課の方でそれは確認をしたいと思うんですけど、少なくともうちの中で財政サイドと法規的な所を見ましたら、実際のお金が倒れ出すのが、ただ仰るように事実上はやっぱりもう分かってもらわないとダメだという事だと思うんで。

：まあ今せやから。

：俺あんまりこういう入札とか・・・、ごめんな15年もしてるのに不慣れで、並河管理者の説明で予定価格がここで決定されるんで、入札の公示には金額が決定されるんで、この時点で額が表へ出てきます。入札予定価格っていうのは、あくまでもこれから計画ある程度の大きな計画を提示させていただいて、これを設計、施行でいくらでしますかっていうのを出していくわけやな。

局長：予定価格っていうのはその金額です。

：そっから下がるわけやろ。

局長：当然下がるというのは、入札して結果的には下がるかも。

管理者：結局メーカーによって、こういう全量焼却のこういう機能を備えたものを造りなさいといっても、結局実施設計の所になったらメーカーの持つてゐる技術と、自分のどこの持つてゐる製品とかに変わってくるんで、採った所が設計して造らないと施工しないとどうにもならない。だからそこも含めて予定価格これでやって下さいと、これで設計。

：業者名決まっていますねんって、業者名を決定して入札してもらいますねんっていうように聞こえたけど。業者名は分からんわけやろ。せやから一つの間口を開けていって、色んな参加型の入札方法採りますわっていう説明やさかいに、業者が2社来るのか、3社来るのか、4社来るのか分からないわけやろ。ほんなら各々専門のやり方を持つてますけども、うちが出してるのは何トン何ぼで焼くんやというので答えて下さいよという入札の仕方するんやさかいに、この機械うち専門です、この機械専門ですっていう業者が集まってくるわけやな。

管理者：それがですね、入札公告を8月にやってそれから先1回審査、2回審査で優秀提案者を決めるっていう31年度のプロセスが正に今仰っていただいたやつなんです。この枠の中でやってくれる人っていうので、募集をして入札公告を打って、うちは要はこの額でこんなふうになりますとかっていうのを出してきて、それを総合評価で。

局長：要するに予定価格っていうのは、色んなメーカーによって単価が違ふんですけども、少なくとも組合としてはこの単価で予算を組みますと、それぞれ入札かけて低い所が落札するという形になりますんで、その予定価格っていうのは設計価格ですね、ですからね。設計から建設から運転経費も全て含んだものが予定価格になります。

管理者：8月に公告を打ちますと。今が仰っていただいたようにそれぞれの業者がうちはこういうふうで、うちはこういうふうに出てきますと。それを1回、2回と審査をみんなですて、それで4月に決まるっていう事なんですけれども。業者が決まるのは、ですから32年の4月です。なので、お金が実際に出てくるのは、契約自体が契約行為が7月なんで、32年度から実際にお金は動き出します。なので、各市町村の債務負担行為、各市町村議会における負担金の債務負担っていうのは32年度でオッケーなんです。ただ、31年度に公告を打って札入れて下さいねっていう為にはこの4月に予定価格が出てから入札公告の8月までのこの間に組合議会で債務負担行為を取らないといかんという主旨です。

：まあ普通の土木工事でちよつと違ふからね。

：せやけど、結局あれやわな、各市町村っていうか合うていこうと思つたら、まあ6月頃にはちよつと議会に対して一定の道筋だけは、額とかそんな関係ないから決まらないうねんから、こういう形でやりますというスケジュールだけは示さんと、こんなん際に示していったらやで、議会からクレーム出るで。

：大まかな流れぐらいは言えないと。

：せやからそれを6月頃に、一応統一的にやると、いやうちはもうやらへんねんっていうんやったらそれはそんでいいやんか。けどやるとしたら6月ですよというふうに決めといたらそれでええんちゃうか。

：この議会を先に、さっき言うたように。

：それやったら9月やんか。

：9月で一応・・・ある程度の一定の額は増える条件3つ整いました、物価が上がってきました、工事がたくさん企業持ってます、そして補助金のリスクも上がってきましたんで、当初考えてるよりもまあまあ一定金額増えますっていう予想がつかますっていう事を、この9月議会である程度言うというて。

：いや、せやから言うてるのは、今年の8月に組合議会やるから組合議会の後の方がええやろっていう事やな。

：いや、まずこっちが先や。

管理者：そこに関しては2通り考え方、仰るようにあると思うんです。自分のとこの議会で全然そういう方向性も出てないのに、いきなり8月のここの組合で言われても戸惑ってってタイプの方もいるかもしれないし、そこは結構各議会からどういう方が出てきていただいているかによって変わるように思います。うちの場合は議長と経産委員長と結構ドシとしたのがここの議会なんで、今もし6月に説明という事やったら6月議会の各市町村議会ですよ、全協前に組合議会の議員には例えばうちの方から一声かけていただいた上で、こういう事情ですと説明させていただくとか。

局長：うちの場合は組合議会はもう決まってると思いますけども、4月から今度のその議会の役選まで決まってないんですわ。

管理者：え、議員決まってない。

局長：3月いっぱい取り敢えず任期が。

管理者：え、でも5月の役選が終わったら各市町村から誰を出すか決まってるんでしょ。

課長：一番遅い所は6月まで決まらない所もあります。それは時期的にありまして。

管理者：6月にでも組合議会決まれば、6月の各市町村の市町村議会の最後の全協とかで説明しとく事は時間的には出来ますよね。だからまあ9月で遅いとお思いにならなければ、  
仰るようにその議会で。

：そりゃな、筋としてはや、ここでキチっとまだ事務局の天理側がしっかりと説明もしてないのに、市町村が先にやってしまうというのはちょっと難しい所あると思う。ただ、我々としたら、やっぱりこれ大注目的や。うちどっつかいうたらここにはの議員来てはるわけや。うちの議員は、。そんなにやかまし言わんけど、まあ他の議員から聞かれた時に、何にも聞いてまへんねんというんじゃちょっとどうなのかなと思うから、6月頃にもし話が出来るんやったら一番のかなと。

：それはとしてやなしに、組合としてやろ。

：いや、これはとして、町として出来るだけ概ね分かってきてるんやったら、最後の数字は別やで、数字は下手な事言うたら大問題なるさかい。ただ、考え方、進め方ぐらいはちょっと事前に言うてあげといた方があと動かし易いのかなという気持ちはあるわけや。前にもそれに近い事言うてはったから。ただ6月にやるか9月にやるかだけの事やから、そら9月でもかまへんけど、ちょっとでも早く議員の耳に入れといた方が議会がやり易いというんやったら、6月なるわなというだけの事ですわ。俺は別にな、かまへんねん。

管理者：もし、この組合の議会がしっかりと通さないとという事で、ご懸念いただくのであれば、組合の議員に一声ちょっと事務局の方から今のきっかけとしてはですね、こないだ説明しましたけども、案が取れたようですという分もあります。今後の進め方の分もあります。それを説明に行く時に、大体现状の情勢分析としてはこういう感じで、そこそこ上がっていったる状況で、それはかくかくしかじかですっていうのは全然行かせていただいてやぶさかではないので。

局長：そうですね、後で又ちよっところ検討していただく、発注支援業務の入札について、要するに制限付一般競争入札やらせてもらおうと、こういう事をここで協議いただいて、これでオッケーであれば3月中に各議員には説明にあがりたいと思ってるんです。

管理者：整理して申し上げますと、予定価格を出していく為にもこの発注支援業務1から7までの業務をやってもらう人を6月に入札かけていこうと思ってます。今日予算を取りました。その入札をかける方法が、今この紙に書かせていただいた通りでございます。うちは条件付きの一般競争入札という事で、条件としてはこの2. に書いてある当たり前の事ばかりですけど、悪い事してないっていう、変な所と関係がないっていう部分が大体上に書いてあって、それで近畿に本店か営業所を有してる事というのがありまして、最後の5番ですわ、5番でこの10年間に連続運転の焼却炉で高効率発電を行える設備を備えた施設の発注支援に関する業務をやった事がある人。さすがにこれをやった事がない人に金額だけで取られてしまうと、この1から7が大丈夫かいなという事になるんで、これだけ条件は付けさせていただいて、後は入札でやろうというふうのうちとしては思ってます。ただ議員によっては、どこの業者になるかっていう事に多大な関心を持ってらっしゃる方も中にはあって、私共はそういう立場ではないんですけど、勝手に要は1から7の所に合ってるコンサルの所が決まったら、それは結構ニアリーイコール、プラントメーカーにも結構繋が

ってるんじゃないかと思われる人も中には居ると思うんで、その入札方法がどういう事なのっていうのは結構関心を持ってらっしゃる。うちが最初、環境影響評価のコンサルを決める時だけでも、今の■■■■に決まったら、■■■■に決まったっちゃう事は次はこれで最後行きつく先はこれやなって勝手に。そんな全然決まってもせんやんかっていうような事まで言う人もあるんですわ。なので、ここでうちとしては入札でやらないとややこしくて仕方がない。ここでもしプロポーザルとか評価方式とかやったら、もう作爲的な感じになってしまうんで、最低限の条件だけつけて入札にいきたいと思っています。それでオッケーいただいたら、それを3月には説明に行こうと思ってる。

局長：組合議員、4月以降ちょっと議員がおられない時期がありますんで、6月は入札していいかなあきませんから、3月中に議員。

管理者：3月中。

■■■■：それやったら管理者な、局長が3月に行くっちゃうんやったら我々としたらもう既にこういう話をしに行き出すと、そら話はもう前向いて流れていくから、我々としては9月というんじゃないしに、6月頃にやらんな、そんな説明聞いた議員が喋るで、他の議員に。

■■■■：協議してな、どういう炉にしようか言うて協議してまんねん、それが決まったら答申受けて、基本計画を立てられるコンサルに委託しますねん。今、どんなもんをどこへどう建てるかって何にも決まってない時にな、あんた説明に行く説明に行くて言うてるが、何をもって言うねん。

局長：要するに入札。

■■■■：いやいやせやからこれやろ。これの結果な、物価が上がってきました。

局長：そうじゃなくって。

管理者：今複数あって、■■■■仰ったのは、こういう入札みたいな話をし始めると自然と、もうぼちぼち建てる事とかお金の事に頭がいくやろっていう事を仰ったというふうに思います。で、でも■■■■が仰っていただいたのは、あんまりこれ早く。

■■■■：要するにこれまだ仕様書決まってないのに、単価が上がまんねんっていう根拠どこにあるねん。

局長：3月っていうのはね、基本的にあの。

■■■■：分かって欲しいのは、厳選な入札方法やってますとかそんなん・・・。結果として1.5倍くらいになりませっていうのを分かって欲しいわけやろ。

管理者：整理させていただきますと、何で局長が3月中に申したかといいますと、3月末の時点で議員が一旦ガラコンになっちゃうと。で、この入札が6月に公告を打たないといけないので、それまでにはこういう方法でやりますっていう事を組合議員に事務局としては説明した形じゃないと、打てないという事になると。ただ、ギリギリ言っちゃえば5月から6月にかけて役選をそれぞれの市町村議会でやって、議員が決まればダダダッと説明に回ったら入札6月に打てなくはないんじゃないかと。3月中にあんまり無理に。

局長：入札するまでの準備でもう既に。

次長：準備は先にしておいてもいいとは思いますが。

局長：準備っていうのはこれでやるわけですね。決まり事を報告しに行くのであれば、それはそれでいいんですけども。

管理者：ちょっと錯綜してますが、まずこの方式自体については皆さん何かご意見ございますでしょうか。

次長：事後審査型の一般競争入札というやり方なんですけれども、これ一番分かりやすいと思いますので。

局長：これをこの入札をこの6月に予定しておりますので。

：これを6月にやるっちゃう事やな。

局長：ですから、もう4月以降はちょっと議員空白になりますので今の議員にはこの方法で入札やりますよという報告だけ、これはもう予算ついておるものですから説明にあがりたいと。

：先程も言ったんですけど、これを説明しに何ったらスケジュール間どうなってんねん、今後のっていうお話が多分各議会で出てくると思うんです。それを知らないっていうわけには、多分このお話し回ったら。

管理者：それも含めて、これってやっぱり造っていくもんは凄く密着してるんで、これだけ説明に行くと、はい分かりましたで終わる人よりは、あんな事もこんな事も聞きたい気分になっていくっていうそういう事です。

：せやからな、これはこれで説明しに行ったらええわけやんか。せやけど、必ず議員はこういう話が出てくると、周りの議員、うちはましてやごみ特別委員会というのがずっと継続してやってるわけやから、やっぱりそこも委員会に聞いた話を報告しはるやんか。ほなどないすんねんってなってきた時に理事者側から一つも報告説明ないやんかと言われたら、ほな組合で9月でええがなっていう話になってまんねんっていうような話はできひんやん

か。そしたら行ってスケジュールでもこんな細かくしてくれやんでもええわけやん。簡単なスケジュールでええからこのスケジュールとか、あとちょっとした資料を提示して説明をしておくと、スケジュール間はこうですと。価格については今これからやからまだ明確にない、ただ最近の動きとしてはこういう事ですねというような程度で説明としてはええのちゃうんかな。

管理者：それ3月ですか。

■■■■：いやいや6月頃。

管理者：今■■■■がちょっとつぶやいていた、これ当たり前の事やから、こんな説明せんでもいいんじゃないかと仰っていただいたんですけど、うちの事務局として気になってるのは、もう6月に公告を打つんで、その際々に説明に行ってから、一般競争入札やなくてちゃんと能力を見なあかんから、プロポーザルにしろみたいな事をもし言われてしまうと、もうちょっと6月に公告は打てないから、先に一言は言っといた形で準備をしたいっていう思いで言ってるのですが。

■■■■：そりゃ早めに言っといた方がええよ、それは。そんなんギリギリに行って、お前何やねんと。

：うちはある程度やっぱしこれ天理にお任せし、我々参画してるけど天理の方でお世話をかけているんで、多分この事は当然の事違うんかっていう話、■■■■と同じ事になると思うんです。

管理者：どうでしょうか。

次 長：それやったらありがたいですよ。

管理者：これは別に一般論なんで、3月に焦って行かなくても6月に行きやあ、公告前には際々になっちゃいますけども、言ったらそれでいいんじゃないか。ただしこれを言う時には今後のやっぱりざっくりしたスケジュール間と今予算てのはこういうふうな情勢ですっていう事を併せて説明をして、それで根回し一旦やっておいた状態で各市町村議会の6月の最後ぐらいに、全協なりで組合議員には組合事務局の方からちょっと一言こない説明があったかと思いますが、情勢としてはかくかくしかじか、こんな段取りで進む事になってますっていうのを言っていたいて、8月議会にうちの組合の議会があるっていうのが、今お聞きしているところの総合するとそんな事かなと思っておるんですけども。

■■■■：■■■■、こんなん決まりきってるねんで。せやけど議員の立場としたら、際々にお前何考えてるねんという話に恐らくならへんかなという気せんでもないんやけど。

■■■■：ちょっと聞かせてくれる。こんなん執行権側の話であってな、議会通る話ちゃうんとち



やう。こんな聞いた事ない。

：この情報をまき散らすのがいいかどうか。

：そうや。こんな執行権側が責任を持ってやってますって言い切る話やん。

：こっちの答申書の方を完成3月末にしますねんやろ。公表しはりまんねやろ。それを説明に議員に行ってもらって。

管理者：これ自体はもう中身は今日も全協で説明してあるんで。

：管理者言うようにな、執行権側の話やけど、我々としては報告とか説明っていうのはうちの上牧は、タイミング見て話を説明してるわけです。

：・・・だけを説明すればいいの違いまんのか。

：まあ各町によってやり方ちゃうからな。

管理者：そしたらこれとスケジュール間だけを例えば3月に言っておくって事でよろしいですか。

：この3月。

管理者：スケジュール間、流れだけ。何であなた今説明に来たんですか、6月に入札公告の議会の財源はいただきましたんで、その執行についてきましたっていう事で言って、6月から入って今後こういう予定になっておりますっていうのを、あんまり凄く具体的な感じにならないくらいの程度で、3月中に言っておいてって事ですかね。

：俺は別にそれをかまへん。

管理者：それぐらいやったらいいですか。

：俺の考え方はな、まずこれを説明しに行くんやったらこれ説明しに行ったらこの話聞かれるの分かってあんねんから、我々としては言うてはった9月より6月の方がええやろと思うから、6月案を出してるわけですわ。せやから今から3月で、資料云々言うたら自分とこの議会もありやあ、忙しいやろからな。そやからこれだけ話して、後についてはそれぞれ市町村の事務局にこれから資料も作って、又説明させてもらうから。恐らく市町村としては6月頃を目処に説明をしてもらうように、今準備中ですよ。しかしこれ急ぐんで、説明しときますわってそんでええのちゃうん。

管理者：成程、分かりました。今のご意見からすると、きっかけはこないだ議会で説明をさせていただいたこのものが案が取れて承認をいただきましたって説明に来るふりをしながら、

取り敢えずそれでアポを取っていった時に、来年度予算で取らせていただいたやつについては、6月入札公告をするので、入札方法についてはこういうふうにさせてもらいますっていう事までを言って、又今後の詳しい予定とか進め方については、恐らく6月議会を目処に、各市町村議会でも報告するような感じでこれから事務局と担当で詰めさせていただくんで、先生宜しくお願ひしますと、出来るだけシンプルに言って帰ると。

■：俺はそのやり方でええと思うんやで。で、6月にこんなんをもっと簡潔にしたものを、ちょっと事務局サイドが渡してくれたら。そやからうちなんか6月議会の一番最終日にでもちょっと懇談会開いてもうて、懇談会で説明させてもらおうと。

管理者：それは予定はその・・・。

■：でもええかなというふうに思うだけの事です。

■：せやけど8月には、明らかに今までの値段と若干上がる要素がたくさん出てきましたので、しっかりと今後において下げる努力を精一杯やっていますが、上がりそうですわっていう話は、今年の8月にはこっちの議会で言うと。

管理者：それと共に、大変申し訳ないんですけど、2月3月とか30年度末になりそうな時には選挙が終わった直後にでかいのをこの組合議会で審議いただかないといけませんと。こんな忙しい時に言ってくんなくて多分怒られると思うんです。その時にはでもそれが遅れると事業者決められなくて36年稼働って無理なんで、各市町村によって今何とか施設もたせる所をその間民間に委託していただく事は、もの凄くこれが年度を跨ぐっていうのがもう財政的にも非常に大きいんで、予定価格が4月に出たらパパっとうちに進ませてもらわないといけないんですっていうのを根回しをしていただかないと。

■：4月20日に選挙で新しい議員がなります。それ以降、当初の話でも前議員が決めた話を5月に進めますって、そんなんできひんやん。絶対に振り出しに戻って、分かる分からないは別にして説明に行って了承を得るっていうのは絶対いるやろさかいに事前にしたかったらもう1月か2月頃にこのスケジュールですよっていうのを前の人に説明しといて、ほんで最終決定はおたく4月の28日選挙でしょ、28日に新メンバーが決まりはった段階で今度この6月に入札を開始する事を決定しますんでっていう話やろ。

管理者：ここの臨時議事を6月に開く。臨時議会6月で、それより前には開けないので、要は議員が決まってないので、臨時議会をもう。

■：みんな旧メンバーと新メンバーと若干変わるわけやね。

管理者：ただでさえ、その中で誰を議長にするとか役選をしていただく時に、恐れ多い事ですがと、クリーンセンターもその事務組合に出す議員も一緒に決めて下さいって事を言っていたいて、決まったらもうそこでダーっとうちが5月必死こいて説明に回らせてもらって、

6月の臨時議会で何百億っていうパーンってでかいのを債務負担行為とらなあかんと。

：両方に流す。事前に・・・時点である程度流して。

：うちの恐らく引き続きずっとやるであろうという人間を議会が出してるんで、まずそれが落選せん限り。

：うちもそんな雰囲気。

：議会で新メンバーが主導権握る事はないと思いますんで、旧メンバーにしっかりいいんじゃないんですか。どうなんですか。

：逆から言うたらその気忙しい時にダダダーっといってもうてするのが、すんなりいくで。ゆっくり落ち着いてゆっくり説明するより。

：一番始めの当初の問題になりますけども、それぞれの議会に対しては3月議会では報告はしないという事でいいですね。

管理者：問われれば、この応答要領で答えていただくしかないかなと。問われて全然っていう訳にいかないと思うんで。

：こっちから積極的にせーへんね。

：聞かれたら言わなしゃーないわな。

：この内容までは答えても大丈夫という事。

：2枚目は置いといてな、1枚目だけな。1枚目の裏表はこれですよって話や。

：敢えてね、今まで組合議会の中では、議会毎に全協で組合議会に報告をずっとやってるんですよ。それを報告はもうしないという事にしといて、今回の2月は。

管理者：状況報告はしていただけるんで、今回の私が全協で読み上げさせていただいた読み上げを共有させていただくんで、要はこないだの議会では環境影響評価の進捗状況の事でした。それで今3月末にこの答申が出ますっていうそれは自然に多分やっていただいても。

：それは予算ですから、全然問題ない話なんですよ。だからそれ以上のこの部分についてはもう敢えてこちらからは報告はしないという。

：聞かれた事はそりゃ早く答えやな、答られませんとは言われへんやん。知らん事は知らんでええけど。

管理者：金額・・・上がるんちゃうんかとか聞かれたら、それは事実関係なんでここまではしゃべらないかなという。

：5,300 が結論出されへんから数字出して5,300 が8,500 の数字出すのか。そんなん出したら。

：いや、そんなんまだ決まってないんやから言う必要あらへん今の段階やったら。

：①は言わない。聞かれても答えない。

：上がる可能性はありますよでいい。

管理者：高騰はしてる状況のようですぐらいい。

：ほんなら、もっかい確認するけど、一応今年の3月には事務局回りまっせと。又詳しい話は6月に説明できるように事務方で調整しますさかい、又聞いて下さいでええわけやろ。

管理者：これだけ言わせていただきます。

：それともう一つ、ほんなら6月議会中に各市町村、説明するのかしらないのかは、その市町村の考え方によると。やるんやったら6月。言うてるように9月。せへんのやったらせへん。それはもう各市町村勝手にするけど、出発は6月議会からという事によるしいか。

管理者：それでこれと、後まっこれの中身と。

：6月議会、絶対議員の中ですぐ広まるで。せやて、それは6月にするんやったら6月で足並み揃えとかんな。ほな6月までにここに来てくれてはる議員には、事前に説明しといて。5月は役選で、決まった人もそして継続で来てはる人にも、こういう流れですつていうのを言うとかんやっぱり。

局長：6月議会までに行こう思たらね、決まっておられない議員は。

管理者：だから6月議会の最後の全協にしてもらったらありがたい。

：説明するねんから、別にええんちゃうん。6月議会でやったらもう一発でこんなもん。

管理者：決まっていない人ってそんなにいない。

：俺そう思うけどな。

課長：いやまあ一部です。5月までが大半で。

管理者：どこですか。

課長：今のところ、ひょっとしたら■■■■が遅いかも分かりませんが、今、時によったら3月に選んで山添ですわ、3月にもう選んでいただきますね。変わらないですし、早くなつてはるところもありますんで。

管理者：できるだけそういう方向で頑張らしましょう。で、8月議会にこの組合議会でおさらいの説明をさせていただくと。来年冬の1、2、3くらいの時に、でっかいのが選挙直後に取らないといけないんで宜しく願います。決まったらすぐ臨時議事を6月に開かせていただく形になります。まあそういう形でございます。

■■■■：3月議会は高騰するであろうという、今日この基本構想にちゃんと合理的な決定できてますよっていうとこまでで止めといたらいいんですね。

管理者：よろしゅうございましょうか。

■■■■：もう統一は作らへん、今ので合意事項でええか。今ので皆合意事項でええの。統一文書1枚作らへんかって聞いている。もう今ので合意で。

■■■■：もうそれでええやん、いちいち。

管理者：そしたらすみません。後もう1点だけご説明、地元との協定というのがございます。

次長：ちょっと資料の方を、地元につきましては大きく2校区に隣接が跨っておりまして、今までそれぞれの自治会から意見とかいただいて、組合から回答した内容を協定書という形で整理しております。個別具体的にはないんですけども、当然内容っていうのがまだ大きな枠でしか書いておりませんので、今後施設稼働に伴いまして色々な事が決まりましたら、それぞれ追加していくっていうような形で今纏めさせてもらっております。ほとんど内容的には掲示板は設置せいとか、積替施設は10t程度の車で来る時に天理東インターを必ず使えとか、活断層の調査をせいとかそういう事ですね。後水質ですね、農業に関して水質はきちんとして下さいというようなところでございます。

管理者：ここの所以外のどこでやるっていうのは、何でいつの間に天理市外に変わってるの。

次長：基本は一旦天理市以外で、ダメな時は天理市も含めて再検討という。

管理者：周辺地区以外でやってた、今もそれで結構頑張ってた。これはもうこれでセットしちゃってるんですか。

局長：一応これでそれぞれに整理してもらってます。この協定書につきましては、過去の運営協議会で何度も報告させていただいてるやつを最終的に地元と結ぶ内容がこういう形で決まりましたという事で、整理させていただきましたので、これでちょっと協定書を締結していきたいと思っております。

：が持つてはる駐車場は、天理市がと賃貸契約を結ばれ、その賃貸契約の中に組合に同時に貸しますよという締結が入ってあるさかいに、天理側のクッション、我々は2クッション目ですわという位置付けやな。これはどう理解したらいいん。天理市の位置付けが管理者の位置付けになってあるさかいな。

局長：この協定書というのは組合と地元との協定書という形になっております。

：そうそうそう。それを聞いてるねん。その辺分かってるねん。

管理者：の賃貸借契約とこれの位置付けはちょっと違います。

：違うねんな、確認しときや。

管理者：組合と地元との約束っていう形で。

：組合が直に地元と協定結ぶっていう事やな。

管理者：そういう事です。

：から借りたやつは、先程説明した通りやろ。ここはについては組合ととで締結してますよという。

局長：樺本校区という形になりますけれども。地元と組合との協定書です。

：直接契約。

管理者：はい。

：この中で第4条でちょっと変な事聞きますけれど、各市町村の車は名阪を利用せよという事で名阪利用しない場合は止めるよという事なんですけど、名阪そのものが何かの事情で止まった場合、これやむを得ないですよ。

管理者：名阪が例えば・・・か何かで止まった、それは通報をうちから当然しないとはいかんとは思っておるんですけど。

：そんな場合は一般道路を通らせてもらわん事には、一般道通られへんかったらそっち行けへんもんな。

管理者：それは再度ここにやるとややこしいんで、ちょっとうちの方でルートをちゃんと決めましょう。

：たまにやっぱし止まりますね、事故が。

：天理インターより向こうが止まる場合があるよってな。

管理者：大体天理東よりもより東なんですけどね、雪とか降ってって。オメガカーブのところでっていても天理東まで止まるっていうのはそんなない、山添は確かに。

：東で止まらへんって。雪もあらへんし。ここで・・・うちだけや。こっちはみんな心配要らん。なった時はなった時やで。そんな時話せなしゃーないやん。

局長：基本的に組合に運ぶ車っていうのは分かるように、何か印をさせていただこうと思っておりますんで、一般道走ると住民が分かるという形になっておりますので。申し訳ないですけども宜しくお願いします。

管理者：こういう形によるしゅうございますでしょうか。大変長時間に亘りましたですけども、今後の非常に重要な所やったかなと思いますんで、ありがとうございました。

：しょうもない話聞くねんけどな、煙突59で書いてあった。あれ45から59の枠あんねんやろ。

局長：当初は45から59の枠採ってたんですけども、建設する地元がある程度決まった・・・説明に行ったらですね、やはり景観も大事やけども、高くすれば拡散ができる。高い方がええという意見が多かったもんですから、委員会としても高い方を採択するという。

：俺にしたら、小理屈かしらんけどな、何にも59せんでも50でも55でもええやないかいってうちの職員に言うてたんや。町長そんな事言うたかてこれ困ってまんねんて。何も俺文句言うてるんちゃうでって。何基準で59で決まったんや。

局長：航空法の関係で又余計なもの付けやなあきませんねん。

：大丈夫かいな59mで。地震や何かでどうもならへんのかな。

管理者：意味なく100mとか付けさせられてるとこも実際にあるんで、東京の方行ったら100mの煙突とか、で何メートルでしたか。

次 長：100 何十メートルです。大阪市内 100m 超えています、全て。

：通天閣より高いな。

：大丈夫かな言うててんけどな、俺。

次 長：60 ありますと、赤色灯付けたり航空法で物体をこれですよって明示せなあきませんので、かなり赤色がチカチカするとか。

：50m でもええやんけ、最近技術発達してるでって言うててんけどやな。

局 長：ほとんど変わらないんですけども、高くする方が若干薄くなるという。

管理者：県の環境審議会に何か妙な人がこう煙突のところで、ダウンドラフトで色々と来るっていうのをえらい言いほりましてですね。

：そない言うて俺、職員と笑ってん。誰決めてん 59 で。

管理者：面倒臭くならない限界でやったと思います。

：50 でも 55 でも何ぼでもええんちゃうんかい。

管理者：出来るだけ高くせいっていうご指摘やったんで。

：航空法の関係のギリギリ。

次 長：今の嘉幡も皆 59 です。嘉幡で 59 です。

：そんなに高く見えない。

：一定の高さいるもんな。

管理者：ありがとうございました。

以 上